

劇映画「いのちの山河～日本の青空Ⅱ～」製作・上映運動を成功させる岩手の会

シンポジウム

沢内村の生命行政に学ぶ

医師不足や財政悪化による地域医療の危機が叫ばれ、後期高齢者医療制度への国民的批判の高まり、介護保険や医療制度・年金など、社会保障制度全体が大きく揺らいでいます。

そのような中で、47年も前に全国に先駆けて老人(60歳以上)と乳児の医療費無料化の実施、全国初の乳児死亡率「ゼロ」を達成した沢内村(現西和賀町)の輝かしい業績が、今あらためて全国的な注目を集めています。

当時の沢内村長・深澤晟雄さんは、「豪雪・貧困・多病」という三重苦の中で、自らの信念である『生命尊重』行政の在り方を説き、やがて村民総ぐるみでその困難を克服し、のちに沢内村は「自分たちで命を守った村」として全国に知られるまでになります。

「健やかに生まれ、育ち、老いる」という沢内村の生命行政の理念と実践に学び、大いに岩手の誇りにするとともに、全国へ発信しましょう。



日時 2009年3月7日(土)

13:00~15:30(予定)

会場 岩手県水産会館 5階大会議室

どなたでもご参加下さい

参加
無料

講演「沢内村の生命尊重・生命行政のあゆみ」

増田進さん(雫石町緑陰診療所所長・元沢内病院院長)

「深澤村政後の沢内の取り組み」「医療の現場」「地域医療を守る県内の運動」など、それぞれの立場からリレートーク

<主催> 劇映画「いのちの山河～日本の青空Ⅱ～」製作・上映運動を成功させる岩手の会

<後援> 岩手県社保協、岩手民医連、岩手県保険医協会、岩手県生協連、岩手医労連、NPO 深澤晟雄の会、いわて労連、岩手県消団連、岩手県学校生協、いわて生協、岩手自治労連、岩手県教職員組合、岩手県高等学校教職員組合、岩手県革新懇、岩手県商工団体連合会、NPO 輝け「いのち」ネットワーク、盛岡医療生協(順不同)

お問い合わせ・連絡先 岩手県生協連 TEL019-684-2225